

船本せり薬品の効能と似しめり子又宜云を世産船の互
 布するところ吾邦の人壽を好む異を言ふを物を移す
 ありれども異域乃産物その性質ありては千金の子
 ハ童子垂せたりと有り言貴れ人物を容易子異物を喜む
 ることせんやとこそこれしとて常子人をさとす小正大
 の論を以ててこれ如くく國史を讀みて萬國子冠
 たるとを信ぜりつ人々を著く文学を勧めりるものあり
 唐本の医書を梓行するものれとて多し明曆三年九月十
 七日泊然とて逝せり時子年七十有九孫その子又桃
 子告げり云む丹溪先生享年七十八今これ一歳
 を増せり既子壽域子躋る葬儀ハ家礼不擲んんとを

おりども國使不修ふと有り又宜の令をあり言り年
 異英氣外子發く嚴みく質並あり一足してその元
 あらざるを志しり富貴の人とてども礼容を加へ落更悞
 夫もその風を欽し兒童を率もその名を著るるを此
 あらむ浸す子及びく世人悼むをすすといふとあり

名家畧傳卷之四



題名家累傳後

文學之於世也。有兩途。而一偏焉。其先治經學。而必推其道。以化務
尚。而後修史學。其必推其行。以盡其理。而後修史。其必推其
所以為世也。吾先子。有牧子。其行狀墓誌。以編年。其備考。亦亦
續紹。其殆二有美。友北嶠山。其予同游也。恒以著述為事。文
其溫故。之善。雖記之。既行。其善矣。其他。其傳記之。善。其在。其
去。固夥矣。一日。其信。其善。堂。觀而喜之。且。其善。其以。其不。其
是。遂抄錄。其要。命曰。名家累傳。如其生。則。其備。其考。其也。
嗚呼。其哲。其湮。滅。其于。其世。不少。先子。其既。起。之。今。其又。其據。其以。其集。其善。其美。其
云。君子。其集。其善。其美。而。其家。人之。善。如山。其崎。其也。其亦可。其不。其謂。其子。其也。其深。其亦
其善。故。其掇。其拾。之。云。 時。天。仔。辛。丑。初。夏。

本館

漢濟原義撰

逸齋親書

官許天保十三年壬寅十二月廿日

山崎久作美成著

千賀源藏春城訂

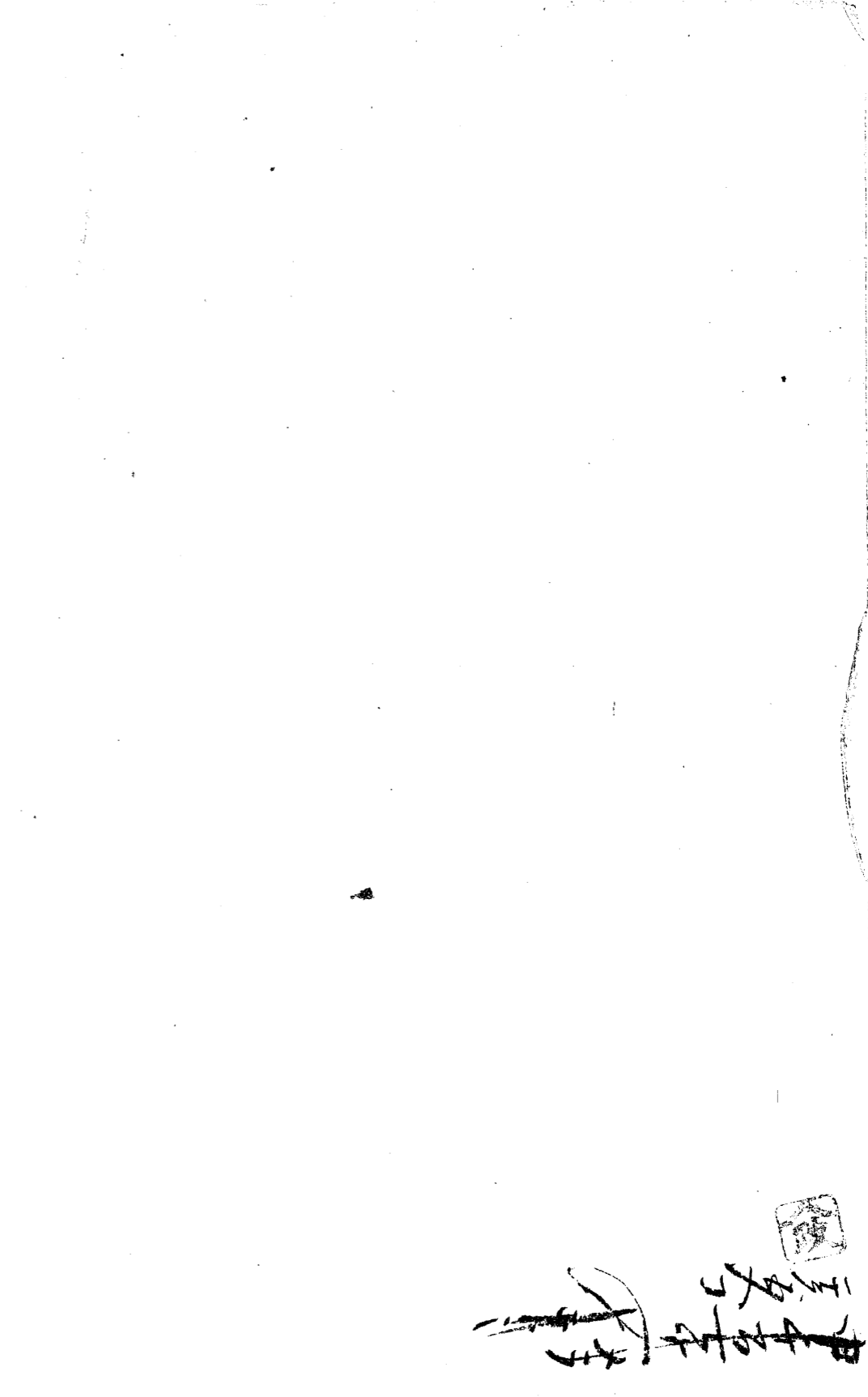
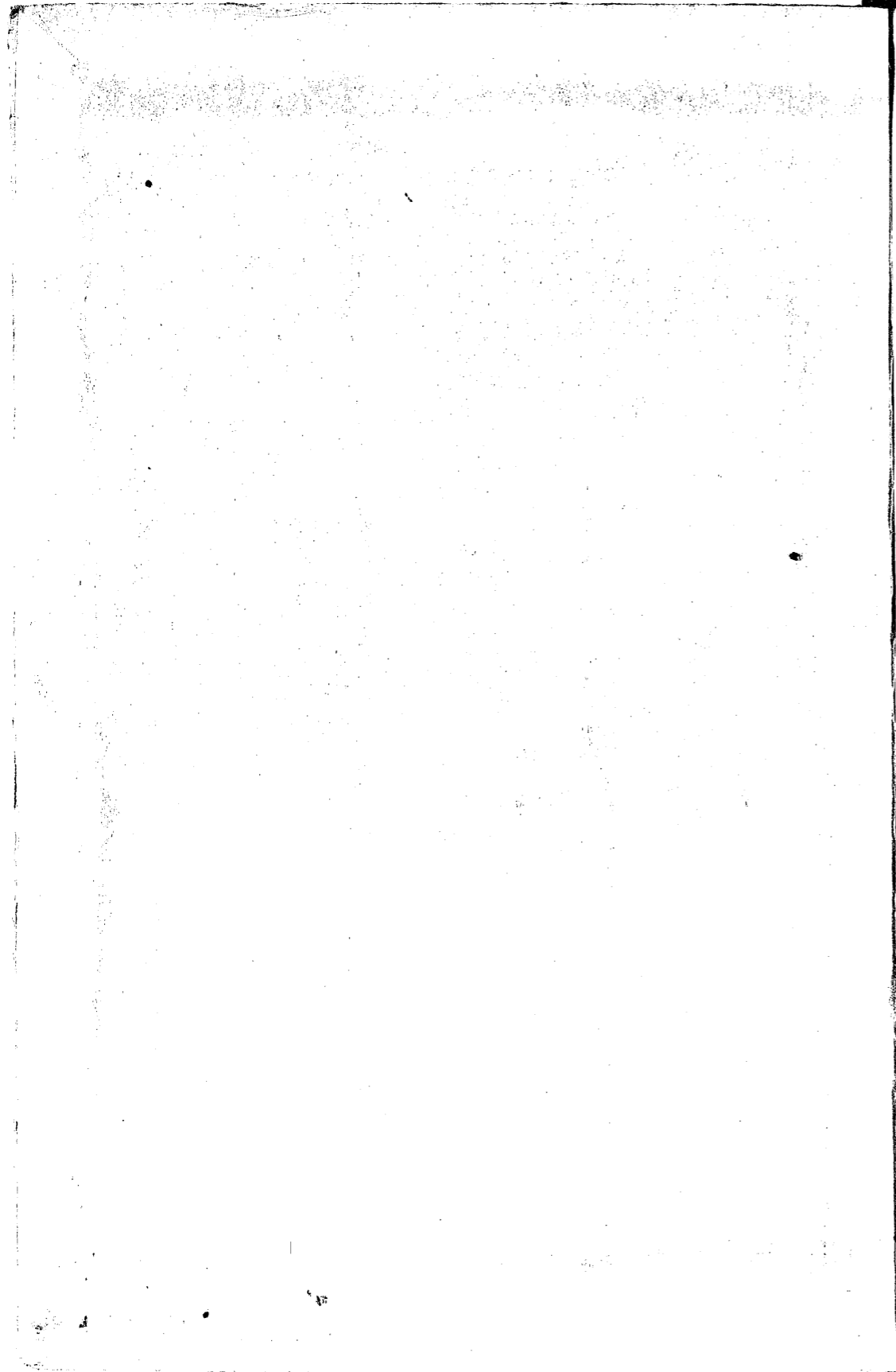
津田藤右郎弘道

藏板

發行書林

江戸下谷御成道

英屋文藏



Handwritten signature and a red square seal.